

会 議 録

| | |
|------------|---|
| 会 議 名 称 | 登米市総合計画審議会 第2回ともに分科会 |
| 開 催 日 時 | 平成26年12月25日(木) 午後1時30分開会 午後1時55分閉会 |
| 開 催 場 所 | 登米市迫公民館 視聴覚室 |
| 議長(座長)の氏名 | 加藤 慶太 委員(宮城県東部地方振興事務所登米地域振興事務所長) |
| 出席者(委員)の氏名 | 徳永 幸之 委員(公立学校法人宮城大学教授) ※遅参 加藤 慶太 委員(宮城県東部地方振興事務所登米地域振興事務所長) 尾形 重雄 委員(登米市コミュニティ推進連絡協議会会長) 齋藤 力 委員(公益社団法人とめ青年会議所理事長) 以上4人 |
| 欠席者(委員)の氏名 | 須藤 明美 委員(登米市男女共同参画審議会委員) 以上1人 |
| 事務局職員職氏名 | (説明員) 登米市総合計画策定連絡調整会議ともに部門会議部門長 総務部次長兼市長公室長 中津川 源正 登米市総合計画ワーキンググループともに部会長 総務部市長公室長補佐(総合調整担当) 小野寺 仁 (事務局) 企画部参事兼企画政策課長 佐藤 裕之 企画部企画政策課 主事 伊東 智 以上4人 |
| 議 題 | 【協議事項】 (1) 第二次登米市総合計画基本計画(案)について |
| 会 議 結 果 | 別紙のとおり |
| 会 議 経 過 | 別添のとおり |

| | |
|------|---|
| 会議資料 | ■第二次登米市総合計画基本計画（案）に係る分科会での主な意見 |
| 発言者 | 議題・発言・結果 |
| 座長 | ○前回の分科会で出された意見の再確認を行いたい。 |
| 座長 | ○基本政策 23 から「男女共同参画社会」を分離し、「協働によるまちづくり」と個別政策 24 の「市政への市民参加の推進」を一つにするということだったがよろしいか。 |
| 委員 | ○先日の分科会で、その方がわかりやすいという話だった。本日、配布された資料を見ると、大変すっきりしていると感じる。 |
| 座長 | ○「男女共同参画」は「協働のまちづくり」と重なっているわけではない。中身を見ると分離した方がいいのではないか。 |
| 座長 | ○二つ目は、「市民と行政が「ともに」創るまちづくり」の中に「行財政運営」を入れていいかということだった。市はこれでよろしいか。 |
| 事務局 | ○そのように考えている。 |
| 座長 | ○気仙沼市の総合計画を見たら、「協働と参加による自立した地域づくり」という目標の中に「行財政の基盤強化と運営効率化」を入れていたので、ここに入れられない話ではない。あとは書き方の問題である。 |
| 事務局 | ○もし、入れるのであれば、しっかりと内容を書くようにということだったので、そのように整理する。 |
| 座長 | ○次に、「市民と行政が「ともに」創るまちづくり」の「行政が」という部分を入れるかどうか保留にしていた。この件はいかがか。 |
| 事務局 | ○前回の会議で、市では「行政が」という部分を入れたいという話をしている。 |
| 座長 | ○行政と市民が協働する場合もあるし、市民同士が協働でやる場合もあるので、必ずしも「行政が」というのは必要ないと考える。 |
| 座長 | ○個別施策 23「協働によるまちづくり・男女共同参画社会の推進」の現状と課題に「コミュニティ活動の充実」が書かれている。コミュニティが大事だということは皆さん認識しているが、具体的なことが触れられていない。男女共同参画についても、同じように何のためということに触れられていないので、目的とか効果を書いていただくにより市民に皆さんにアピールできるのではないか。 |
| 座長 | ○市民協働というのは、言わば学習の機会なので、学習の機会を通じて人を育てるということを書いた方がいいのではないか。 |
| 座長 | ○あとは、文言表現で「充実」「推進」が混在しているので、使い方を工夫してくださいということだった。 |
| 座長 | ○施策の主な成果指標と目標値については、現状がわからないでパーセントで書くというのは非常に分かりにくいという話だった。 |
| 座長 | ○個別政策 24「市政への市民参加の推進」の基本政策の写真とは。 |
| 事務局 | ○写真に若い人たちが写っていないので、若い人たちが参加するような取組が必要ではないかということだった。 |

| | |
|----|--|
| 座長 | ○施策の主な成果指標と目標値については、IT分野に偏っているので、パソコンを持っていない人にも配慮すべきではないかということだった。 |
| 座長 | ○改めて「市政への市民参加の推進」を見ると指標が非常に寂しい気がする。気仙沼市では、自治基本条例の制定とかパブリックコメントの制度化とか行革プログラムの実行を書いている。指標に関しては、多様な観点から少し加えていくことが必要ではないか。 |
| 座長 | ○個別政策 25「効率的な行財政運営の推進」については、現況と課題に「新たな庁舎の建設」の課題とか必要性を書く必要があるのではないかということだった。また、基本施策に「新たな庁舎の建設を目指します」と書かれているが、今の段階でここまで書くのは厳しいのではないかということだった。 |
| 座長 | ○現況と課題には、歳入の話しか書かれていないので、歳入と歳出のバランスについて書く。そして、施策の主な成果指標と目標値に財政状況に関する目標を設定し、市民の皆さんと一緒に目指していくことが必要ではないかということだった。 |
| 座長 | ○もう一つは、市民の皆さんに分かっていただくという意味で、広報紙等で分かりやすく伝えるという話だった。これで評価できるのであれば、回数とか指標として設定したらいいのではないか。 |
| 座長 | ○共通事項としては、目的と方針となっている割には、どこが目的でどこが方針なのかよくわからないので、項目名を「今後の方向性」くらいにしておいた方が適正なのではないかということだった。また、カタカナ、アルファベット表記があるので誰が見ても分かるような注意書きとか、別の表現にするとか工夫した方がいいのではないかということだった。 |
| 座長 | ○以上で、よろしいか。 |
| 委員 | ○最後のところは、「ともに」分野だけでなく、全体に関係する部分なので、全体会でもお話いただきたい。 |
| 座長 | ○これで第2回の分科会を終了する。 |